

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

南伊豆町まち・ひと・しごと創生推進計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

静岡県賀茂郡南伊豆町

### 3 地域再生計画の区域

静岡県賀茂郡南伊豆町の全域

### 4 地域再生計画の目標

半島の先端に位置する本町は、高等教育機関が無いことや雇用が少ないことなどから、全転出者における20代の若者の割合が約23%を占める（総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告参考表」2018年）など生産年齢層の転出者が多い。さらに、高齢化の進展等により、死亡者数が10年間で約23%増加（町勢要覧資料編）するなど人口の自然減を要因として、現在では年間約120人のペースで人口の減少が続いており、内閣府提供の「人口動向分析・将来人口推計のための基礎データ及びワークシート（令和元年6月版）」に基づく国立社会保障・人口問題研究所準拠値では、本町における将来推計人口は2060年で約3,600人と、2040年の半分以下になるとされている。

人口減少及び少子高齢化に伴い、店舗や事業所の減少、雇用・就業人口の減少といった地域経済活動の縮小や、子どもの数の減少に伴う小中学校の統廃合、税収の減少による公共サービスの縮小により、地域での生活の利便性が更に低下するという悪循環が続いてきた。

これらの課題に対応するため、次の5つの基本目標を掲げ、本町の地方創生に取り組むこととし、人口減少の抑制につなげ、今後においても持続可能な地域社会の実現を図る。

基本目標1 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるとともに、次世代を担う子どもを育む地域社会をつくる

- 基本目標 2 南伊豆町の魅力を活かしたライフスタイル・ワークスタイルを創出し、若者の就職時の転出を抑えるとともに、U・I ターン者の転入を増やす
- 基本目標 3 しごと、暮らし、子育て、教育、医療等に関する環境を充実させ、ファミリー層の転出を抑え、転入を増やす
- 基本目標 4 南伊豆町が持つ環境を活かして生涯健康で元気に暮らせる地域社会を創出し、アクティブシニア層の転入を増やし、後期高齢者の転出を抑える
- 基本目標 5 伊豆先端の立地を活かし、南伊豆町の魅力に触れ国内外から訪れる観光・交流人口を増やすとともに、地域との深いかかわりを求める南伊豆ファンを増やす

### 【数値目標】

5-2の ①に掲げる事業	K P I	現状値 (計画開始 時点)	目標値 (2024年度 )	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	0～4歳人口※1	89人	100人以上	基本目標1
ア	15～49歳女性の有配偶率※2	55.45%	60.5%	基本目標1
ア、イ	将来、町に住みたいと思う子どもの割合	小学6年26% 中学3年29%	小学6年35% 中学3年35%	基本目標1、2
イ、ウ、 エ	人口の社会増減の数	△11人	±0人	基本目標2～4
イ、ウ	新規雇用や起業創出数	0人	30人	基本目標2、3
エ	短期お試し移住の参加者数 ※3	年間45組	年間65組	基本目標4
エ	お達者度※4	女性 県内19位 男性 県内29位	女性 県内15位以上 男性 県内15位以内	基本目標4
オ	観光交流客数	850千人	1,100千人	基本目標5
オ	宿泊客数	216千人	230千人	基本目標5
オ	南伊豆ファンクラブ登録者数	0人	250人	基本目標5
オ	ふるさと寄附による南伊豆町 応援者数※5	3,400人	4,000人	基本目標5

- ※1 現状値は、2019年1月1日、目標値は、2025年4月1日時点
- ※2 現状値は、2015年度、目標値は、2024年度
- ※3 現状値は、2018年度実績、目標値は、2020年度以降毎年
- ※4 現状値は、2016年度実績、目標値は、2020年度  
（参考：2016年度お達者度は、男性18.05（目標値である15位は18.31）、女性20.49  
（目標値である15位は21.37））
- ※5 現状値は、2019年度実績、目標値は、2020年度以降毎年

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2のとおり。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

#### ① 事業の名称

南伊豆町まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるとともに、次世代を担う子どもを育む地域社会をつくる事業

イ 南伊豆町の魅力を活かしたライフスタイル・ワークスタイルを創出し、若者の就職時の転出を抑えるとともに、U・Iターン者の転入を増やす事業

ウ しごと、暮らし、子育て、教育、医療等に関する環境を充実させ、ファミリー層の転出を抑え、転入を増やす事業

エ 南伊豆町が持つ環境を活かして生涯健康で元気に暮らせる地域社会を創出し、アクティブシニア層の転入を増やし、後期高齢者の転出を抑える事業

オ 伊豆先端の立地を活かし、南伊豆町の魅力に触れ国内外から訪れる観光・交流人口を増やすとともに、地域との深いかかわりを求める南伊豆ファンを増やす事業

#### ② 事業の内容

ア 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるとともに、次世代を担う子どもを育む地域社会をつくる事業

- ・町内外の人の流れをつくることに合わせて、町内外を問わず若い世代にとって結婚の希望を叶えることができるような環境を創出し、婚姻数を増やし、有配偶者の割合を高めます。
- ・妊娠・出産・子育てに係る周産期医療や小児医療、子育て、教育等の環境を整えるとともに、安定した収入を得られるようなしごとの創出、子どもを産み・育てやすいワークスタイルの地域社会全体での普及・啓発等により、若い世代にとって出産・子育てをしやすい環境を充実させ、出生数及び合計特殊出生率を高めます。

《具体的な事業》

- ・地域ぐるみの子育て応援事業
- ・ふるさと大好き南伊豆っ子づくり 等

イ 南伊豆町の魅力を活かしたライフスタイル・ワークスタイルを創出し、若者の就職時の転出を抑えるとともに、U・I ターン者の転入を増やす事業

- ・南伊豆町内の高校や教育・研究機関等の連携により、地域の特性を活かしたより実践的・専門的なことを学べるような教育環境を創出し、若者が地元でしごとに就き、暮らし続けられるような環境を創出し、若者の転出を抑制します。
- ・南伊豆町の出身者や都市部の在住者・移住希望者等に対して、南伊豆町の魅力や近況を情報発信することにより南伊豆町のことを知ってもらうとともに、新たな視点からの観光振興（着地型観光、健康志向のお試し移住等）の取組により南伊豆町を訪れる機会を創出し、南伊豆町の認知度を上げ、交流人口を増やします。
- ・20代後半から30代前半の若者が「戻りたい」「暮らしてみたい」「働いてみたい」と思える取組を行い、南伊豆町で暮らし働くことに対する関心を高めるとともに、お試し移住の利用等で南伊豆町での暮らしやしごとを体験してもらうことにより、移住に際する間口を広げ、ハードルを下げます。

- ・地域資源を活かした新たなしごとの創出及び起業・創業に対する支援や、既存産業の成長支援による新たな雇用の創出、空き家バンクによる住まいの紹介・提供等により、南伊豆町で暮らし働くための環境を整え、南伊豆町ならではの多様なライフスタイル・ワークスタイルの実現を支援します。

《具体的な事業》

- ・再生可能エネルギーによる地域経済循環事業
- ・南伊豆シゴトづくり支援事業 等

ウ しごと、暮らし、子育て、教育、医療等に関する環境を充実させ、ファミリー層の転出を抑え、転入を増やす事業

- ・地域資源を活かした新たな産業の創出や、既存産業の成長支援を通じた新たな雇用の創出、多様な働き方の実現支援により、安定した雇用の場を確保します。
- ・元々南伊豆町が持つ自然豊かな環境に加え、暮らし、子育て、教育、医療等のファミリー層の生活に関する環境を総合的に充実させるとともに、地域の特色を活かした魅力ある教育環境を創出し、ファミリー層にとって「南伊豆町で子育てをしたい」と思える環境を創出します。
- ・南伊豆町の出身者や都市部の在住者・移住希望者等に対して、南伊豆町の魅力や近況を情報発信することにより南伊豆町のことを知ってもらうとともに、新たな視点からの観光振興（着地型観光、健康志向のお試し移住等）の取組により南伊豆町を訪れる機会を創出し、南伊豆町の認知度を上げ、交流人口を増やします。

《具体的な事業》

- ・南伊豆マイスター制度事業
- ・南伊豆ブランド磨き6次産業化 等

エ 南伊豆町が持つ環境を活かして生涯健康で元気に暮らせる地域社会を創出し、アクティブシニア層の転入を増やし、後期高齢者の転出を抑える事業

- ・都市部から地方への高齢者の移住の需要の高まりを踏まえ、町民のお達者度が高いことや南伊豆町が持つ豊かな自然環境や温泉等の環境を

活かして、町民も移住者・お試し移住者が新たなコミュニティを形成しながら「みんなが元気になれる、みんなが健康に暮らせるまち」を目指して、地域資源を活かした健康づくりを進めます。また、空き家や公有地を活用して移住者・お試し移住者のための住まいの場を整備し、杉並区をはじめとした都市部との連携により、アクティブシニア層の移住・お試し移住を促します。

- ・地域資源を活かした新たな産業の創出や、長年にわたり働いてきた高齢者の技術や知恵を活かすなど、高齢者向けのしごとや活躍の場を創出することにより、生涯にわたり活躍でき、その結果として健康かつ元気で過ごせるような地域社会を創出します。
- ・高齢者の転入が増加して生活者が増え、域内での需要が増えることを踏まえ、買い物、通院、地域公共交通等の高齢者の生活に関する環境を南伊豆町単独や広域連携の中で充実させ、車の運転ができなくても豊かに暮らせるまちを創出するとともに、高齢者の増加をビジネスチャンスと捉え、若者のしごとの創出につなげます。

#### 《具体的な事業》

- ・南伊豆の大学づくりプロジェクト
- ・地域公共交通の利便性の向上事業 等

**オ** 伊豆先端の立地を活かし、南伊豆町の魅力に触れ国内外から訪れる観光・交流人口を増やすとともに、地域との深いかかわりを求める南伊豆ファンを増やす事業

- ・伊豆半島の先端の立地と資源を活かし、その魅力を輝かせることにより、国内外から伊豆半島をめぐり南伊豆町へ訪れる人を増やします。
- ・南伊豆の「ひと・もの・こと」の魅力を町外に発信することにより、町外の南伊豆ファンを増やします。
- ・杉並区をはじめとした交流自治体との連携により、子どもから高齢者まで、多様な世代における南伊豆町への交流・来訪の機会を創出するとともに、南伊豆町を含めた複数の地域に居住する多地域居住者を増やします。

#### 《具体的な事業》

- ・美しい伊豆創造センターを核とした広域観光振興事業
- ・新たな観光の推進事業 等

※ なお、詳細は第2期南伊豆町まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の数値目標に同じ。

④ 寄附の金額の目安

50,000千円（2020年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度9月に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに南伊豆町公式ホームページ上で公表する。

⑥ 事業実施期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで

## 6 計画期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで